

人権・労働に関する政策動向①

- 近年、米国ではバリューチェーンにおける人権侵害に対処するための規制が急速に整備されている
- この背景には、トランプ前政権下において、新疆ウイグル自治区等での少数民族に対する人権侵害や香港の自治侵害といった中国の人権侵害問題やそれを引き起こす中国の政治体制が、米国の安全保障や米国にとって望ましい国際秩序の脅威になると判断されたことが理由の一つとして挙げられる
- 現バイデン政権も普遍的価値としての人権の尊重を重視し、企業のサプライチェーン上の人権侵害に対処する規制を強化し、近年新たな規制が次々と打ち出されている
- 米国の政策手段は、輸入制限、輸出制限、経済制裁等、多岐にわたり、中国関係の製品や企業のみならず、関連する第三国の製品や企業にも対象を広げている
- なお、米国では、連邦レベルでは事業者に対して一般的に人権デューデリジェンスを義務付ける法律は存在しないが、1930年関税法や「ドッド・フランクウォールストリート改革・消費者法（ドッドフランク法）」がデューデリジェンスに関する規制を定めている

時期	法令・政策	内容
1930年	1930年関税法（Tariff Act of 1930）（307条）	<ul style="list-style-type: none"> • 1930年関税法307条に基づき、外国で強制労働により生産等された製品の輸入は禁止 • 関税法上、輸入者は法令が順守されているかを米国税関国境保護局（CBP）が判断するのに必要な書類および情報を提供する際、相応な注意（reasonable care）を払う責任を有する
2010年7月 （2018年改正）	ドッド・フランクウォールストリート改革・消費者法（ドッドフランク法）	<ul style="list-style-type: none"> • 米国証券取引所（SEC）に登録している上場企業に対し、2013年10月以降、紛争鉱物（食品の缶詰（錫）等も含む）の情報開示を義務付け。米国 SEC に報告書を提出している企業であれば、外国企業にも適用
2010年 （2012年1月施行）	サプライチェーン透明法（CTSCA） （カリフォルニア州）	<ul style="list-style-type: none"> • 州内で事業を行う世界年収1億ドル以上の製造・小売業者は、サプライチェーンの人身売買と奴隷の撲滅に向けた取り組みに関する情報を、ウェブサイトや文書で開示することを義務付け
2014年	ビジネスサプライチェーンにおける人身取引と奴隷に関する透明法案（未可決）	<ul style="list-style-type: none"> • SECに登録している年収1億ドル以上の上場企業は、サプライチェーンの強制労働や児童労働、奴隷、人身売買の緩和策に関する情報開示が求められる

人権・労働に関する政策動向②

時期	法令・政策	内容
2015年	連邦調達規制(Federal Acquisition Regulation : FAR)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サプライヤーやその下請会社に対する人身売買や強制労働に関する規制を強化 ・ 従業員の身分証明書やパスポートの没収、従業員への採用費の請求等を禁じる新たな規制項目が加わり、下請会社に対する遵守管理計画の提出や当局の調査協力等も要件に追加
2021年	バイデン政権の政策プライオリティ	国際的地位：世界における米国の地位を回復するために、国家安全保障に従事する職員を強化し、世界中で民主的な同盟関係を再構築し、米国の価値と 人権 を擁護し、米国の中産階級がグローバル経済で成功するための環境を整える
2021年	米通商代表部 (USTR) の政策プライオリティ (2021年政策アジェンダ及び2020年実績レポート (2021 Trade Policy Agenda and 2020 Annual Report))	<p>包括的な戦略による中国の強圧的・不公正な経済貿易慣行への対応 新疆ウイグル自治区をはじめとする中国国内の少数民族や宗教団体を対象とした中国政府の強制労働プログラムによる広範な人権侵害に対処することを最優先事項とする。強制労働と戦い、グローバル市場における企業の説明責任を強化するためのあらゆる選択肢を検討</p> <p>米国のパートナー・同盟国との連携 パートナーや同盟国と協力して、中国政府に不公平な貿易慣行をやめるよう圧力をかけ、強制労働プログラムによる広範な人権侵害を含め、中国に責任を負わせる。貿易政策では、鉄鋼、アルミニウム、光ファイバー、太陽電池などの産業における中国政府の過剰生産、それによる世界市場の歪みに対処するために、パートナーや同盟国との協力を模索</p>
2021年12月	人身取引に対抗するための国家行動計画策定 (The National Action Plan to Combat Human Trafficking : NAP)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不公正な競争から労働者を保護し、世界の労働基準を高めることが目的 ・ 財・サービス貿易で強制労働に対処する上の優先事項のほか、既存及び新たな貿易ツールの活用 of 行動計画等を定める予定 ・ 2022年8月5日までパブリックコメントを募集
2021年12月	ウイグル強制労働防止法 (UFLPA)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国の新疆ウイグル自治区が関与する製品の輸入を原則禁止 ・ 産業界が施行前に求めている執行猶予措置は講じられず、2022年6月21日、輸入禁止措置を施行
2022年6月13日	ウイグル強制労働防止法 (UFLPA) の輸入者向けガイダンス公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国税関国境保護局 (CBP) は、2021年末に可決されたUFLPAに関し、輸入者向けの運用ガイダンスを公表 ・ 本ガイダンスでは、①UFLPAに基づく輸入手順と執行、②輸入例外の申請、③サプライチェーン・デューデリジエンス等に関する参考資料、④輸入例外が認められるために提出すべき書類の種類と性質について解説

5. 中国における食のサステナビリティ

サマリー①

		現状	今後の方向性
企業	政府	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 反汚職：「贈収賄の共同調査を一層推進に関する意見」 ✓ プラスチック削減：「第14次5か年プラスチック汚染治理行動方案」 ✓ 認証推進：「農産物“三品一標”推進行動実施方案」 ✓ 食品ロス：「反食品浪費法」 ✓ トレーサビリティ：「農産物品質安全情報化トレーサビリティ管理弁法」 	<p>----- 政府 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 食品トレーサビリティ強化及び各地域トレーサビリティプラットフォームの連携 ✓ 農家の収入増加、貧困をなくす ✓ 生物多様性を守り、林地を増加 ✓ 農場の水使用量を低減、水不足を緩和
	生産者・農場	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生産の標準化 ✓ 生産のグリーン化、化学農薬・肥料の使用減少、プラスチック使用減少 ✓ 地域ブランドの打ち上げ、有機・グリーン認証取得の推進 	<p>----- 共通 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「三品一標」の浸透率・普及率推進 ✓ 食品ロスを含む廃棄物削減・省エネ・二酸化炭素の排出減少の推進 ✓ 化学肥料・農薬の使用量をさらに減少
	メーカー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ トレーサビリティの取り組みによって食安全性アピール ✓ 食品生産過程のトランス脂肪酸等の有害物質の低減 ✓ 食品原材料の健康性、安全性を重視 ✓ 食品の包装でゼロカロリー、ゼロシュガーなどを宣伝 ✓ 生産過程の無公害化 ✓ 運送過程のプラスチック使用削減 	<p>----- 企業 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 反汚職の義務化 ✓ 生産・運送プロセスのプラスチック削減又は生物分解性材料使用（3R原則推進） ✓ トレーサビリティ強化によって消費者の信頼を得る及び企業ブランド強化 ✓ 有機食品などハイエンド食品に関する消費者教育をさらに強化 ✓ 健康志向食品の開発・普及・推進
	卸小売	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 反汚職、食品安全、プラスチック削減を強化（B2B・B2C） ✓ コールドチェーン、ロジスティクスの効率化によって省エネ、排出削減（B2B・B2C） ✓ 消費者の店への信頼度向上のためトレーサビリティ重視（B2C） ✓ メーカーと協力してサステナビリティ関連のチャリティーイベント開催（B2C） ✓ 健康志向食品重視（B2C） ✓ 子持ち家庭・妊婦向けの分類で、認証取得した食品・健康安全食品を宣伝（EC） 	<p>----- 消費者 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 若者世代において、カーボンニュートラルへの関心は高まっている ✓ ゼロカロリー、ゼロシュガーなど健康関連キーワードにこだわる傾向がある
	消費者	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安全、新鮮度、健康、品質、コストパフォーマンス重視 ✓ 有機、グリーンAA認証への信頼度が高い ✓ MSC、BRCなど海外認証に対する認知度は低い ✓ 乳幼児、妊婦の健康のために、高い有機食品を買う家族が多数ある 	

サマリー②

対象品目	牛肉	ホタテ	加工食品（菓子類）
中国市場現状	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 収入増加により、中国の牛肉需要が引き続き高まると予測。 ✓ 外国産肉牛の飼育コストや牛肉価格の低下のため、輸入量は増加していくと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内におけるホタテの生産量は安定。 ✓ 輸入品においては日本産が96.4%を占めているが、僅か中国総消費量の5%程度である。 ✓ 日本産ホタテの輸入量については、凍・塩・乾ホタテは生・冷蔵ホタテの13倍である。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国では、セイボリースナックが半分以上のシェアを持っている。 ✓ 日本からの輸入製品については、砂糖菓子、チョコレート類、冷菓の成長率は相対的に高い。
輸出入に関する政府規制	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日本から「30ヶ月未満の骨抜き牛肉」以外の品目の輸入は禁じられている。経済の低迷により、高級牛肉の需要は大幅に増加せず、輸入制限が短期的に解除されることはないと予測されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2020年11月、RCEP合意で、日本が中国へホタテ貝を輸出する際の関税が撤廃され、輸出入のコストが下がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「中国輸入食品海外製造企業登録管理規定」によると、2022年1月1日から、輸入菓子の製造等を行う企業は、中国政府に登録することが求められている。
サステナビリティ・認証関連動向	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国のスーパーでは、牛肉のトレーサビリティは推進されている。 ✓ 有機牛肉の価格は非常に高く、市場シェアは低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国産の水産物も海外認証を中心に取得しているが、その割合はまだ低い。 ✓ 生鮮ECが水産物認証に関わる消費者教育に努めている。 ✓ 輸出先によって、異なる認証の取得が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生産プロセスの環境責任や、包装材選択の他に、加工食品のサステナビリティは非常に重要視されていないままである。 ✓ 健康志向の加工食品は近年大人気になっている。
輸出を目指す企業の打ち手	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外交により日本産牛肉の輸入解禁に努めるべきである。 ✓ 高級レストランや、高級スーパーの動向を把握する。 ✓ 日本国内のトレーサビリティと連結、地域ブランドを宣伝・強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 認証制度の認知度向上に注力し、日本産ホタテのブランド力を維持することが重要。 ✓ 高級スーパーなどのハイエンド志向販売チャネルの拡大に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゼロシュガー、ゼロファット、高食物繊維などの健康志向食品は人気で、その商品開発に注力することが輸出拡大に効くと考えられる。

5. 中国における食のサステナビリティ

- 5-1 中国における対象食品データ及び概況
- 5-2 中国における食品関連認証の動向
- 5-3 中国の食品流通プレイヤーの動向
- 5-4 中国における食品関連政策
- 5-5 参考資料

中国肉類の市場概況

- 2019年の豚肉生産量はアフリカ豚コレラの影響で16年ぶりの低水準となった。生産量の減少に伴い、豚肉の価格が上がり、販売量は少なくなったが、種類別にみると依然として最も販売量の多い食肉である
- また、2026年までの成長率予測をみると、牛肉の成長率が最も高い

種類別肉類の販売量

(単位：万トン)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	16~21 CAGR	21~26 CAGR
牛肉	583	594	619	689	737	752	5.2%	4.0%
羊肉	361	367	376	391	393	399	2.0%	3.2%
豚肉	4,052	4,100	3,899	3,014	3,305	3,704	-1.8%	2.1%
鶏肉	1,444	1,450	1,498	1,665	1,811	1,830	4.9%	3.2%
その他	123	125	128	133	120	129	1.0%	2.3%

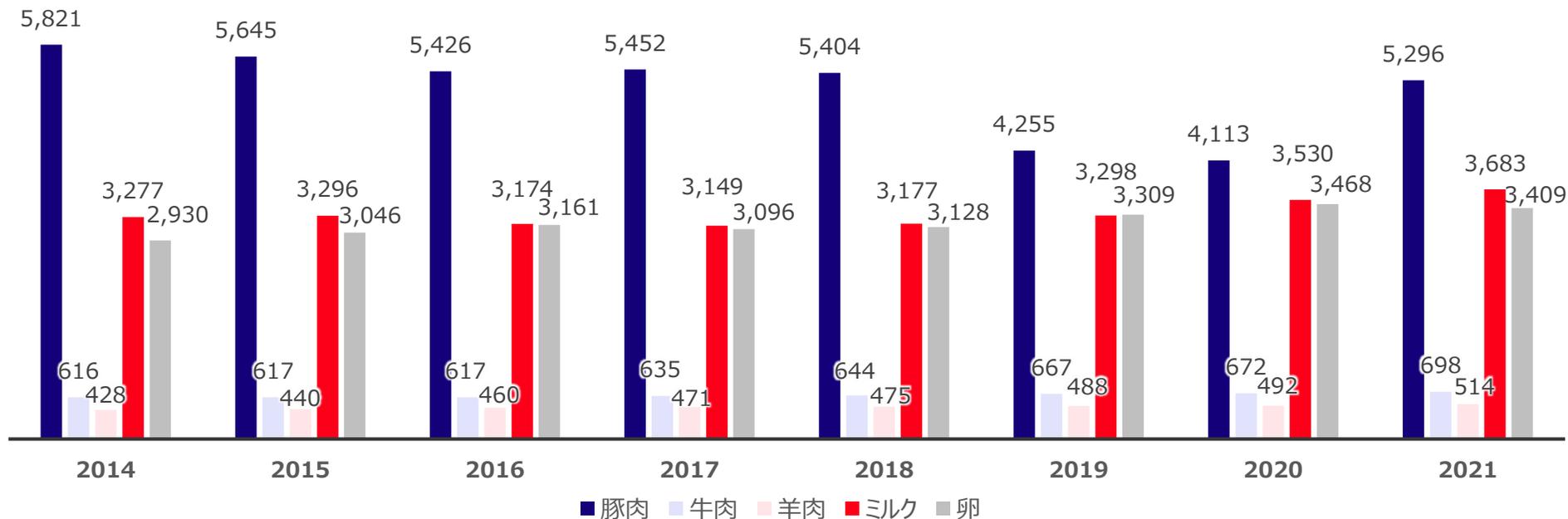
(出所) Euromonitorよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における主要畜産品の生産量推移

- 中華人民共和国税関総局動植物検疫局（GACC）が発行した「動物疫病流行国・地域からの輸入が禁止される動物とその製品一覧表（2022年9月30日）」によると、日本については、「羊、羊胚胎、羊精液、羊内臓(ケーシングを含む)及びその製品、肉骨粉、骨粉、羊脂(油)及び羊タンパク質を含む動物飼料」、「豚、イノシシ及びその製品」、「牛及びその関連製品（30ヶ月未満の骨抜き牛肉を除く）」、および「家禽及びその製品」は中国への輸入が禁止されている
- 主要畜産品において、日本から「30ヶ月未満の骨抜き牛肉」以外の品目の輸入は禁じられている

中国における主要畜産品の生産量

(単位：万トン)



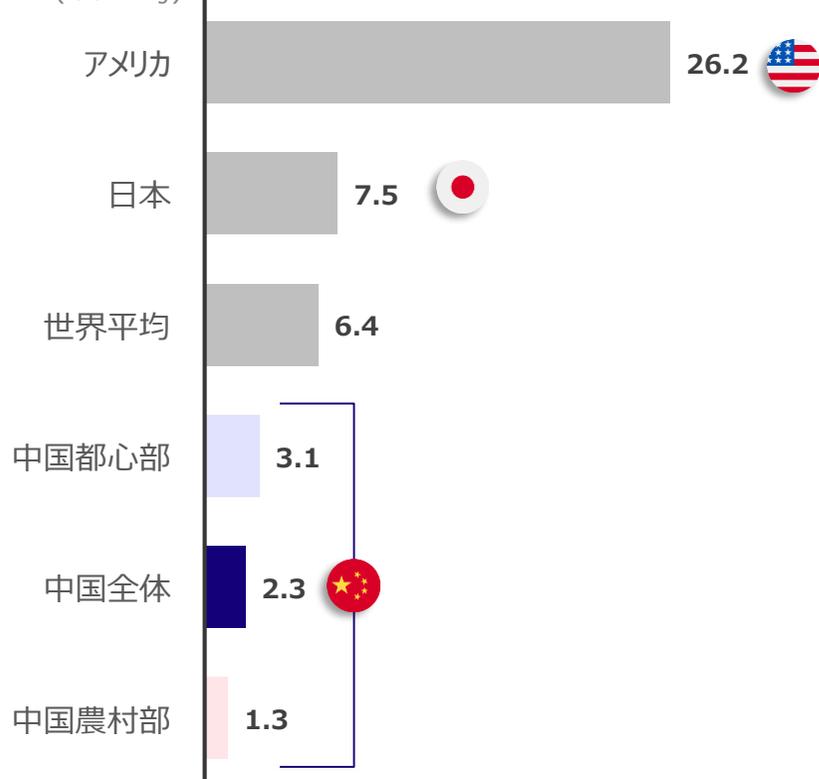
(出所) 中国統計局、公開資料よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における牛肉の関連データ

- 中国における牛肉の消費量は都心と農村地域によって差がある。現在、都心地域の消費量は高いものの、農村地域の増加率が高く、将来地域間の差がさらに縮まると考えられる。しかし、世界と比べて、中国における一人当たりの牛肉消費量は低く、これからさらに増加すると考えられる

一人当たりの牛肉消費量の比較（2020年）

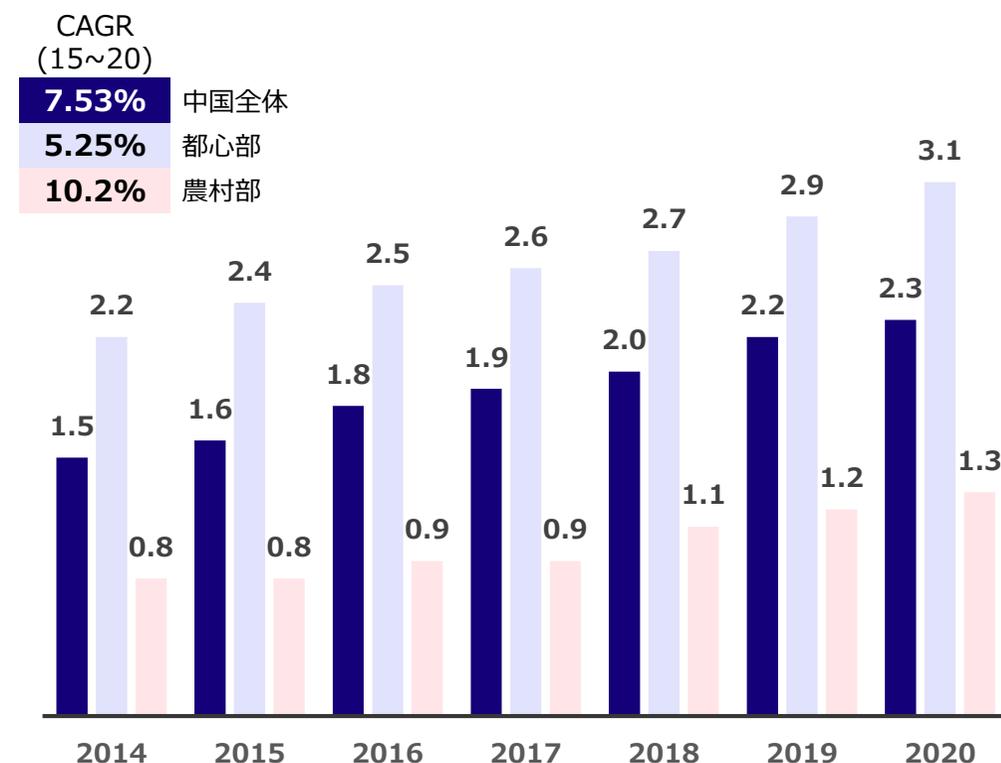
(単位：kg)



(出所) 中国統計年鑑2021、南京農業大学、頭豹研究院等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における一人当たりの牛肉消費量推移

(単位：kg)



中国における牛肉の関連データ

- 2021年、中国の牛肉輸入国は主にブラジル、アルゼンチン、オーストラリア、ウルグアイ、ニュージーランドなどで、アルゼンチンとブラジルの牛肉価格が国内と比べて比較的安いいため、輸入量が多い。オーストラリアやニュージーランドから輸出される牛肉は、国産牛肉に比べて高価だが、輸送距離が短く、肉質が柔らかいため、消費者では人気がある
- 中国とオーストラリアの貿易摩擦の影響で、オーストラリアからの牛肉輸入が減少し、豪州産和牛の輸入も減少する。今後、両国の貿易関係が修復しない限り、オーストラリアからの牛肉の輸入量はさらに減少すると考えられる。そこで、和牛で有名な日本産牛肉の中国への輸出機会が生まれると考えられる

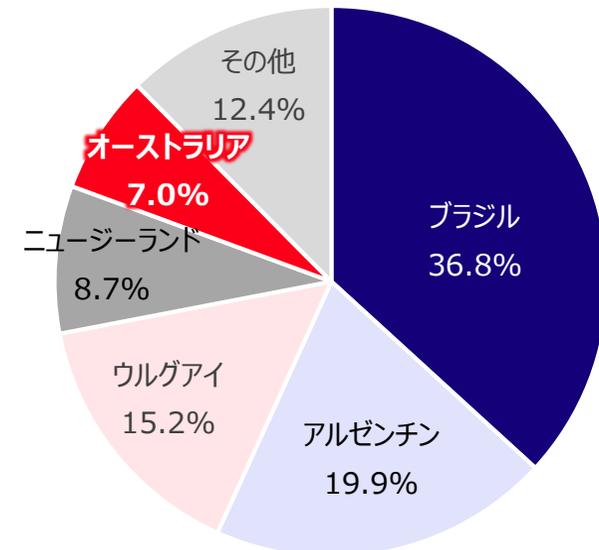
牛肉の輸入量・輸入額

(単位：万トン・億ドル)



2021年各国からの輸入量

(単位：万トン)



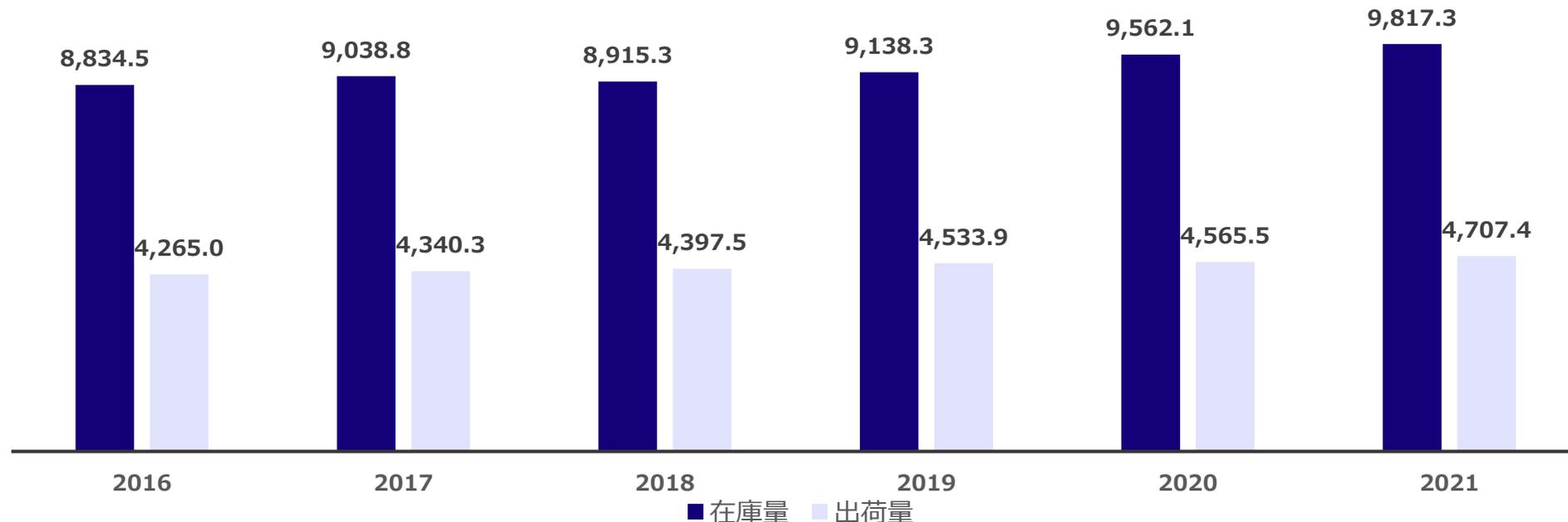
(出所) 中国農業科学院農業情報研究所、全国重点農産物市場情報プラットフォーム等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における牛肉の関連データ

- データによると、2016～2019年の牛の在庫量は安定しており、2020年から牛の在庫量は増加し、2021年に在庫量は9,817万頭に達し、5年間CAGR（2017～2021）は2.09%である。2016～2021年に中国の牛出荷量は4,265万頭から4,707万頭に増加し、緩やかに成長している

中国の肉用牛の在庫量・出荷量

(単位：万頭)



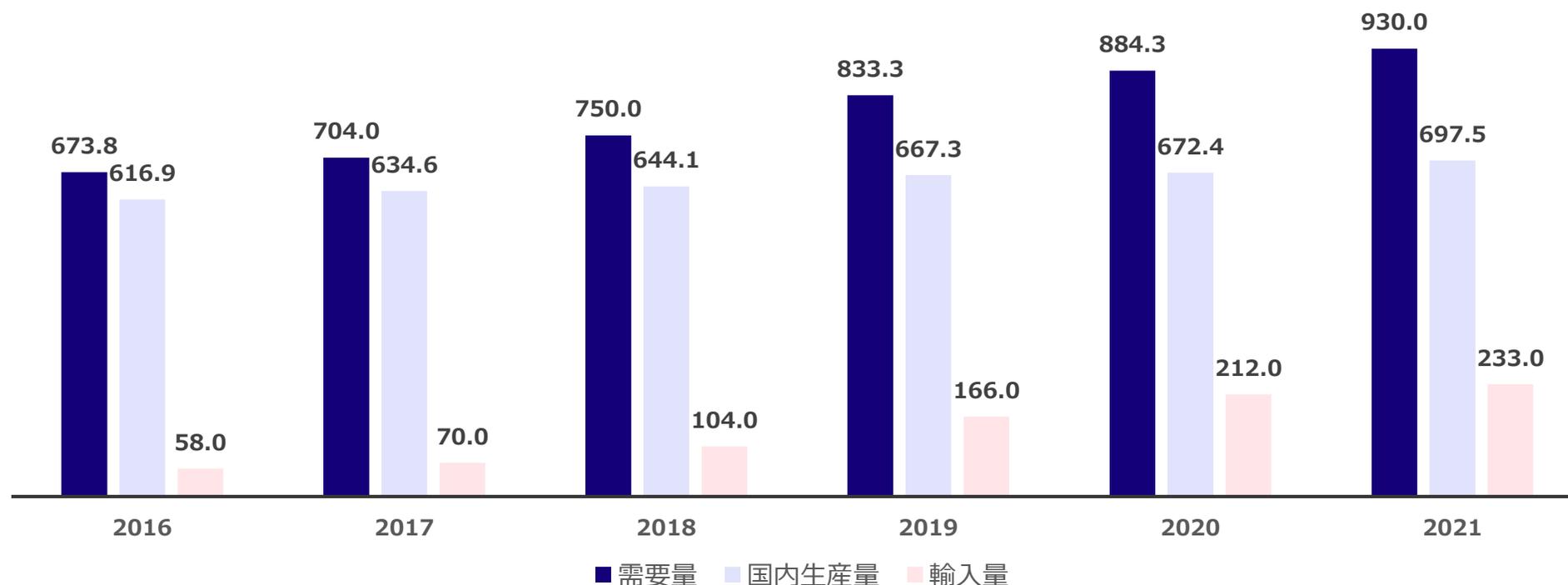
(出所) 統計局等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における牛肉の関連データ

- 中国国内の牛肉需要が引き続き高まること、また、外国産肉牛の飼育コストや牛肉価格の低下のため、将来は輸入牛肉の需要が高まり、輸入量も引き続き増加すると考えられる

中国における牛肉の需要量・国内生産量・輸入量

(単位：万トン)



(出所) 統計局、中国統計年鑑、観研報告網等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における牛肉の商流



(出所) 頭豹研究院等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における牛肉の主要流通プレイヤー

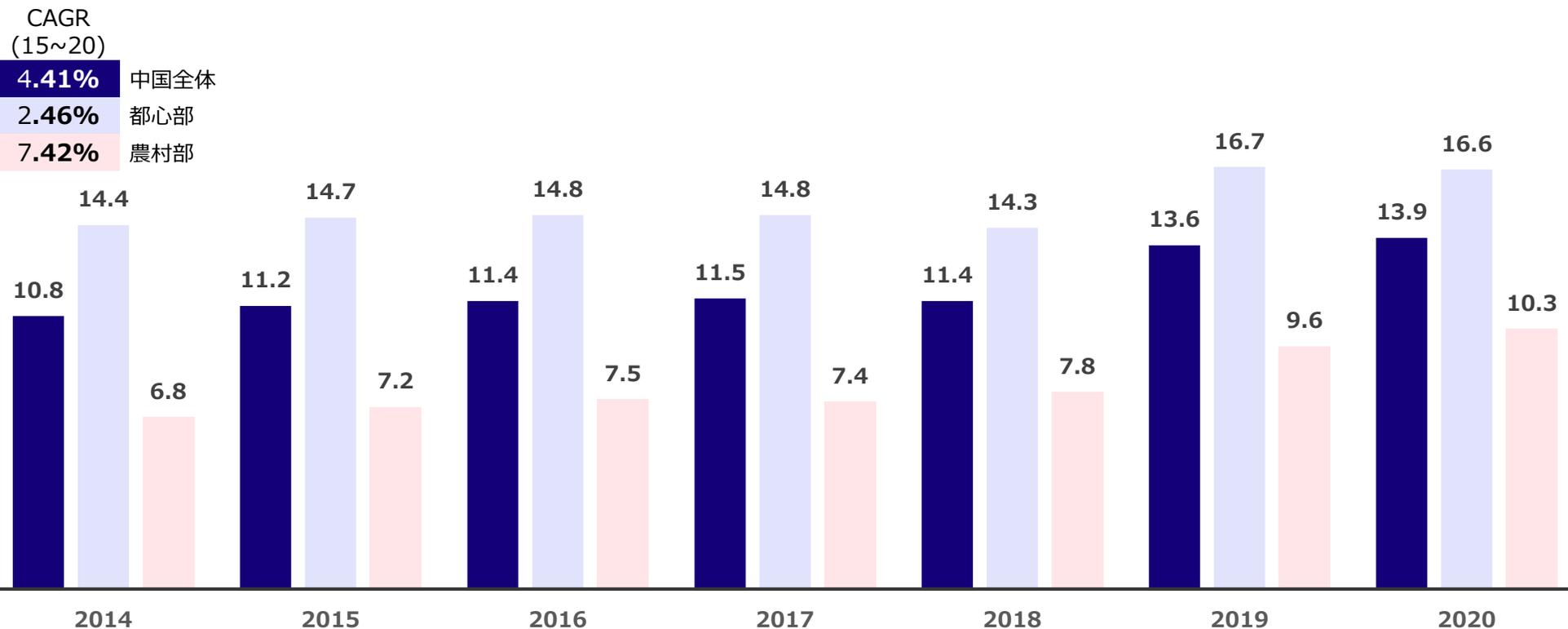
番号	会社	本社所在地	事業概要	2021年売上高 (百万元)	ホームページ
1	东莞市百康肉类销售有限公司	広東省	広東百分百実業集団の子会社であり、珠江デルタ地域の生鮮牛肉のチェーン販売企業で、「牛尚牛」ブランドがある。	171	http://www.0769bk.com/
2	上海源耀农业股份有限公司	上海市	同社の食品事業部は肉類、卵とコーヒーの販売を行っており、2020年の販売額は10億元である。肉類の輸入貿易は国内トップ10を達成した。	14,650	http://www.shyuanya.com/index/index.htm
3	天津市阿根园进出口贸易有限公司	天津市	同社は海外から牛肉を輸入して、中国で販売を行っている。	401	http://www.agenyuan.com/
4	云南海潮集团听牧肉牛产业股份有限公司	雲南省	同社は肉牛の養殖から、加工、販売までを行っている。昆明市に専門店やスーパーマーケットのカウンターを20所を設置している。オンライン販売も取り込んでいる。	501	http://www.tingmubeef.com/
5	河北福成五丰食品股份有限公司	河北省	農業、養殖業、レストランなどの総合企業である。	1,269	http://www.fucheng.net
6	深圳吉丫头电子商务有限公司	広東省	同社の「牛大吉」は中国のリーディング牛肉チェーンストアブランドであり、200店舗がある。	-	https://www.niudaji.com/#/home
7	重庆恒都农业集团有限公司	重慶市	同社は肉牛の養殖・輸入や、牛肉の加工・販売などを行っている。	55	http://www.hdnychina.com/
8	上海壹佰米网络科技有限公司	上海市	2017年、同社はブランド「叮咚买菜」を設立し、顧客に新鮮な食材を提供している。	Dingdong (Cayman) Limited: 5,483	http://www.ddqx.com/bi/home/index
9	山东纽澜地何牛食品有限公司	山東省	同社は新鮮な牛肉と海鮮を販売している。	477	http://www.niulandi.com/
10	山东雅拉食品有限公司	山東省	同社は外資企業で、オーストラリアから輸入する肉牛の屠殺、加工、販売に従事している。	113	http://sdyarra.com/
11	四川蒲扇树科技有限公司	四川省	同社の「易牛当鲜」が新鮮な牛肉を販売しているチェーンストアである。	-	http://www.scyndx.com/

中国における水産物の関連データ

- データによると、2019年から都心地域だけではなく、農村地域の一人当たりの水産物消費量も大幅に増加した。また、都心地域と農村地域の差が依然と大きく、将来地域間の差がさらに縮まると考えられる

中国における一人当たりの水産物消費量推移

(単位 : kg)



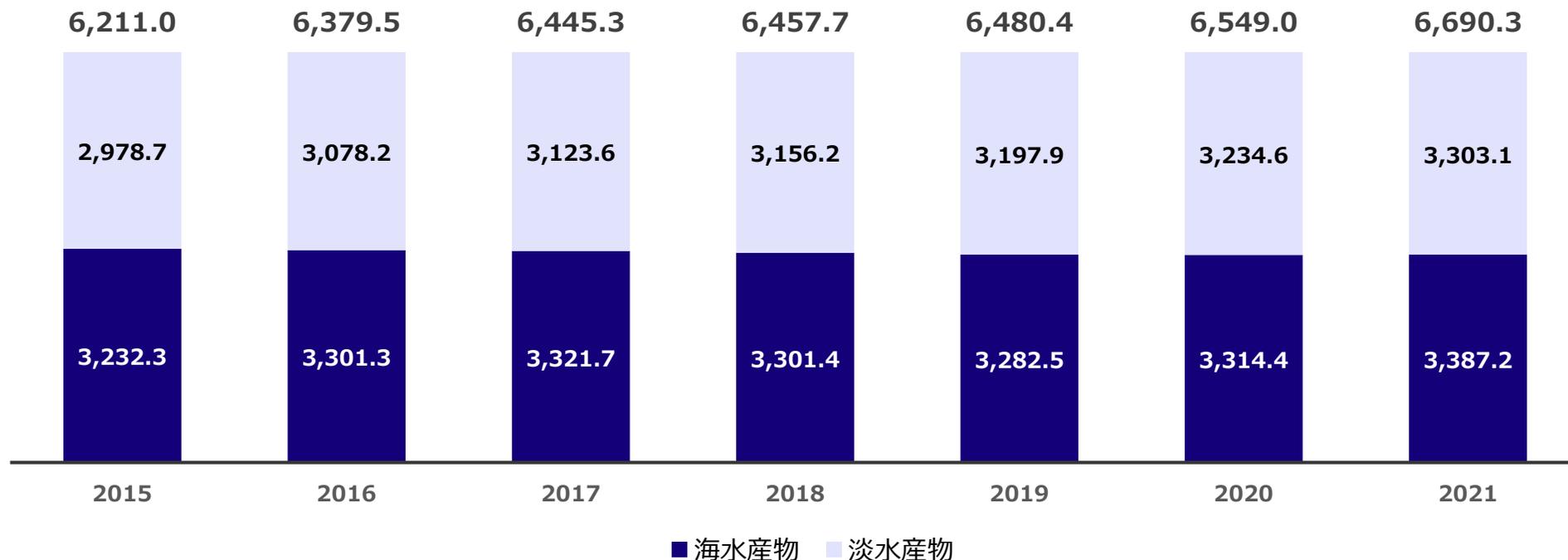
(出所) 統計局等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における水産物の関連データ

- データによると、中国における水産物の国内生産量は基本的に安定している。しかし、中国国内の水産物需要が引き続き高まることにより、国内の養殖規模或いは水産物の輸入量が引き続き増加すると考えられる

中国における水産物の国内生産量

(単位万トン)



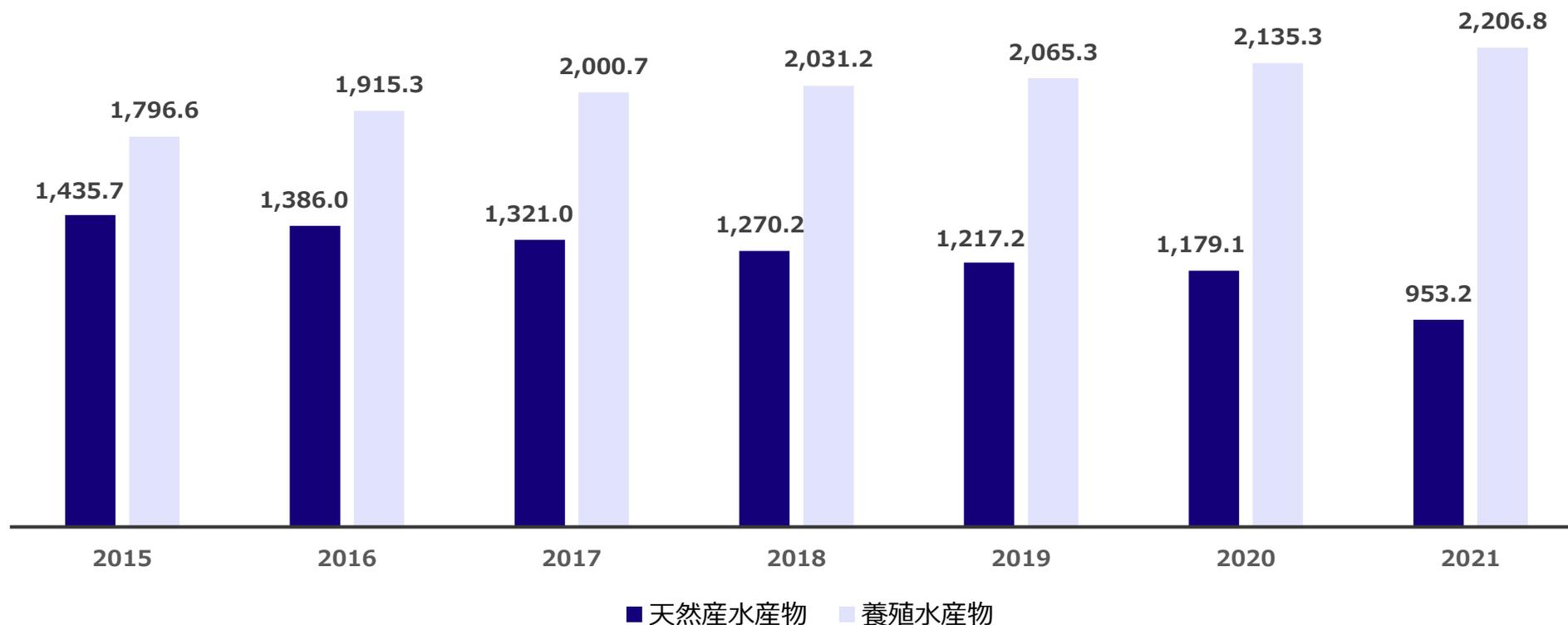
(出所) 統計局、中国漁業統計年鑑2022等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における水産物の関連データ

- 近年、水産物消費需要の増加により、天然水産資源の量に限りがあるため、養殖業が漁業生産の主役となっている。また、養殖の工業化、標準化、集中化、大規模化の進展に伴い、養殖規模が急速に拡大した

中国における海水産物の養殖・天然産規模

(単位：万トン)



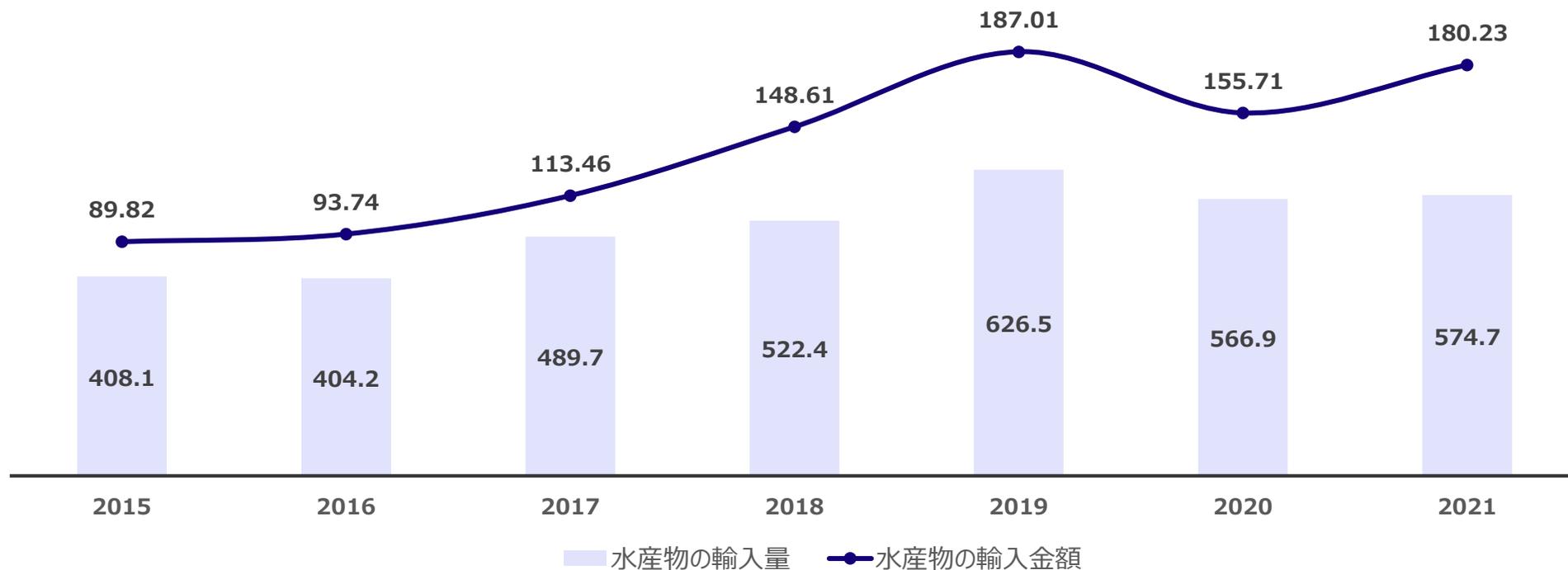
(出所) 統計局等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国における水産物の関連データ

- データによると、2021年の水産物の輸入量は574.7万トンで、5年間CAGR（2017～2021）は3.25%である

中国における水産品の輸入量・金額

(単位：万トン・億ドル)



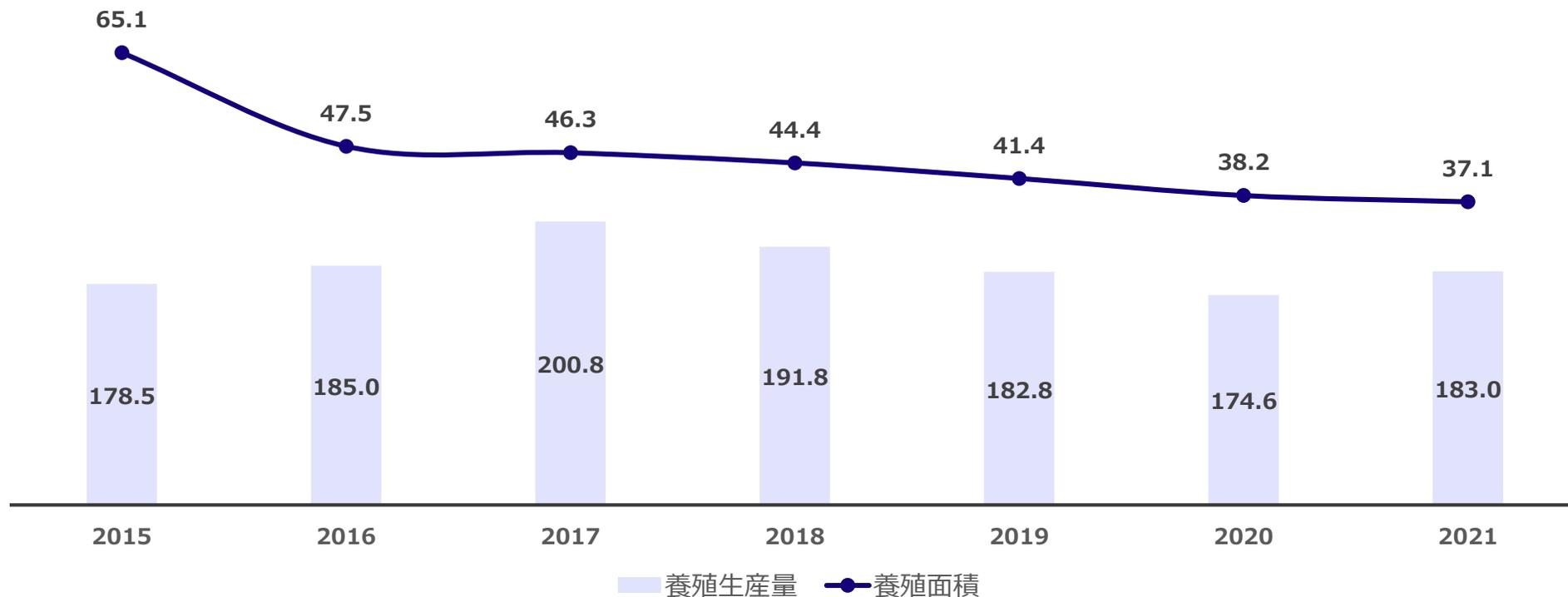
(出所) 中国漁業統計年鑑等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国におけるホタテの関連データ

- 2016年は、産業政策の調整の影響を受けて、中国のホタテ養殖面積は20万ヘクタール近くの大規模減少となった。2016年以降、中国のホタテ養殖面積は緩やかな減少を示し、2021年には37万ヘクタールまで減少した

中国におけるホタテの国内養殖面積・生産量

(単位：万ヘクタール・万トン)



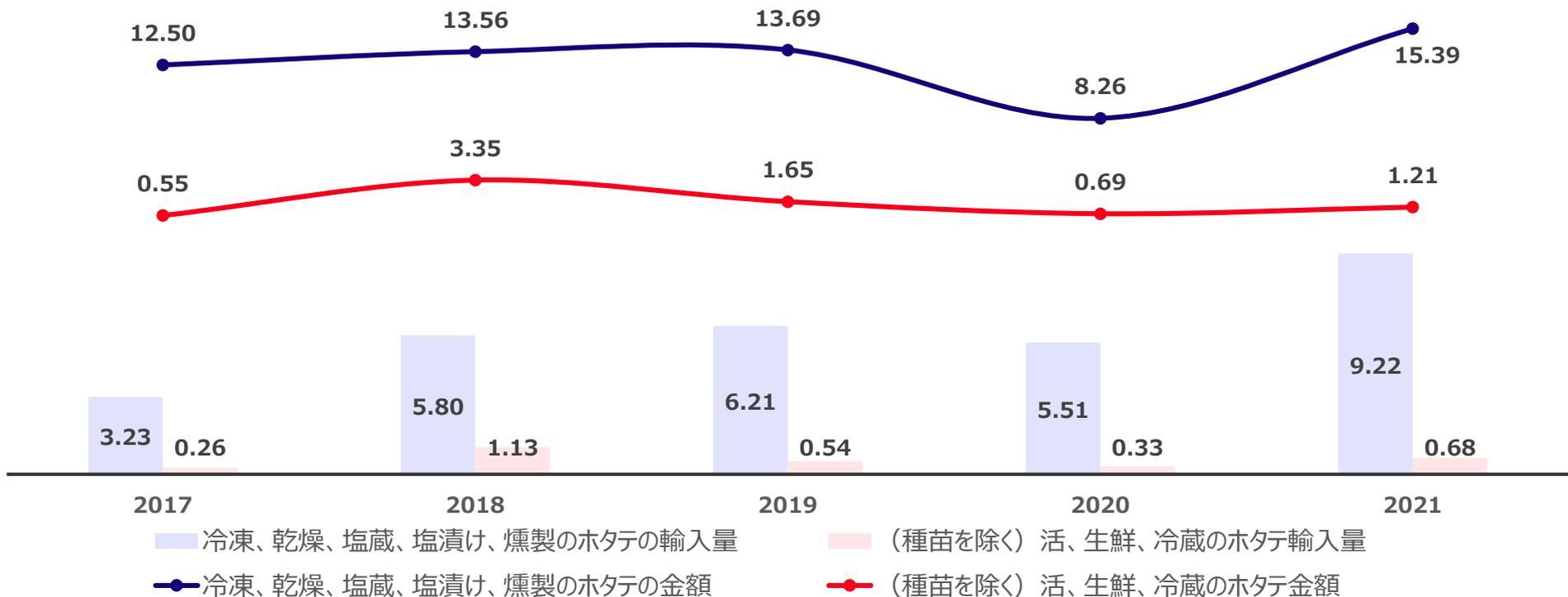
(出所) 中国漁業統計年鑑等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国におけるホタテの関連データ

- データによると、2021年のホタテ輸入量は2020年より大幅に増加した。2021年の冷凍、乾燥、塩蔵、塩漬け、燻製のホタテの輸入量は9.2万トンで、5年間CAGR（2017～2021）は23.52%である。2021年の活、生鮮、冷蔵のホタテの輸入量は0.68万トンで、5年間CAGR（2017～2021）は18.47%である

中国におけるホタテの輸入量・金額

(単位：万トン・億元)



(出所) 税関統計データ等よりみずほサーチ&テクノロジーズ作成

注：HS Code：3072190、3072200、3072900

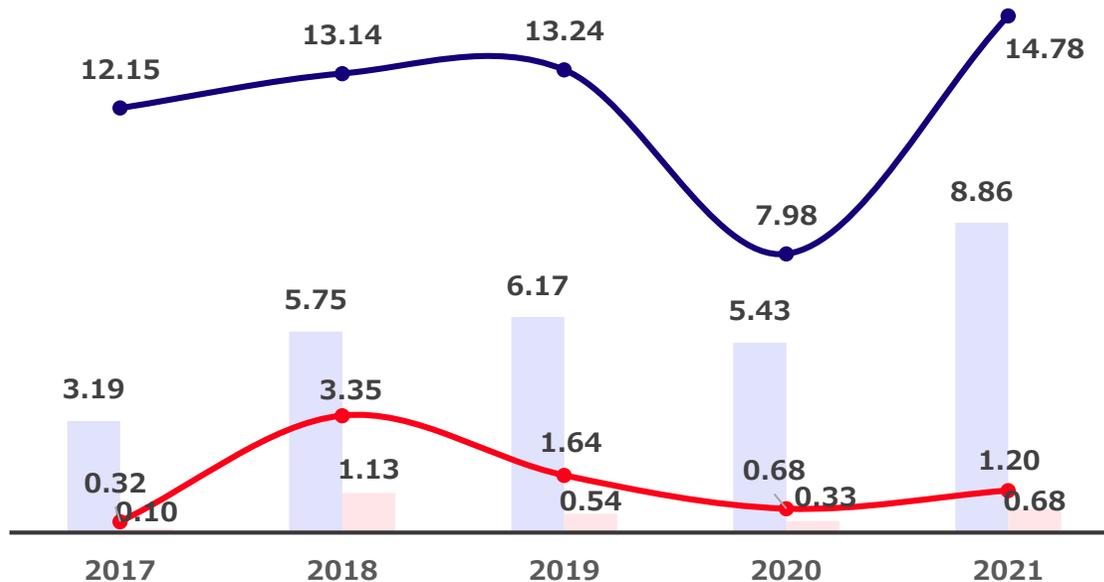
中国におけるホタテの関連データ

- アメリカ産ホタテの減少で、2021年日本からホタテの輸入量は2020年より大幅に増加した。2021年の冷凍、乾燥、塩蔵、塩漬け、燻製のホタテの輸入量は8.86万トンで、活、生鮮、冷蔵のホタテの輸入量は0.68万トンである。2018年から2021年までに、日本からの輸入量・輸入額は中国におけるホタテの総輸入量・輸入額の95%以上を占めている
- ただし、日本から輸入量の半分以上は加工貿易のためであり、最終的には欧米・日本へ輸出される

日本からのホタテの輸入量・金額

(単位：万トン・億円)

■ 冷凍、乾燥、塩蔵、塩漬け、燻製のホタテの輸入量
 ■ (種苗を除く) 活、生鮮、冷蔵のホタテ輸入量
 ● 冷凍、乾燥、塩蔵、塩漬け、燻製のホタテの金額
 ● (種苗を除く) 活、生鮮、冷蔵のホタテ金額



(出所) 税関統計データ等よりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

年度	総輸入量 (万トン)	日本からの	
		輸入量	割合
2017	3.50	3.29	94.0%
2018	6.93	6.88	99.3%
2019	6.75	6.71	99.4%
2020	5.84	5.76	98.6%
2021	9.90	9.54	96.4%

年度	総輸入額 (億円)	日本からの		
		輸入額	割合	単価
2017	13.05	12.46	95.5%	3.79
2018	16.91	16.48	97.5%	2.40
2019	15.34	14.88	97.0%	2.22
2020	8.95	8.66	96.7%	1.50
2021	16.60	15.99	96.3%	1.68

注：HS Code：3072190、3072200、3072900